



平成29年度現在の空き家の対応、進捗状況は

対象物件の7割調査完了、本年度中にデータベース化

小川賢治

**Q** 平成27年度現在、市内の空き家は540件、うち特定空き家89件、建物に問題ないが住んでいないが295件、平成29年度現在の対応、進捗状況を伺う。

**A** 市民生活部長 担当職員による現地調査を進めている。対象物件の約7割について調査を終えた。残り3割についても今後調査を継続します。空家等データベースを本年度中に整備してる。

**Q** 無料空き家相談会を実施してはどうか。

**A** 市民生活部長 県において相談会に専門家派遣事業を実施している。本市でも当該制度を活用して本年度中に空き家相談会を開催すべく県と調整している。日程等決まり次第、市民の皆様にお知らせする。



▲建物に問題ないが住んでいない空き家

**Q** 空き家バンク制度の導入、活用はどうか考えているか。

**A** 市民生活部長 移住促進を目的として、県内市町村の空き家バンクを総合的に検索可能なシステムが既に構築されている。本市もこれらのシステムを活用し、市場とのマッチングの機会を広げ、多様なニーズに対応可能な空家バンクを構築していく。

羽鳥駅特急列車の停車・つくばエクスプレス延伸化を

根気強く要望活動を継続していく

村田春樹



**Q** 橋上化、周辺整備事業の進捗状況は。

**A** 都市建設部長 東西自由通路用エレベーター2基の規格を見直し、救急用ストレッチャーカーが乗る大きさに修正設計した。市議会の政策提言及び羽鳥駅東口拠点整備等検討委員会の提言を踏まえ、民間活力の導入を基本に羽鳥駅周辺の新たなにぎわい拠点として整備実現を目指す取り組みを行っている。現在は、庁内関係所管課や専門家などを通じて具体的な進め方を検討している。

**Q** 特急列車の羽鳥駅停車・つくばエクスプレス延伸化について。

**A** 企画財政部長 茨城県常磐線整備促進期成同盟会に加盟し、毎年JR東日本本社並びに水戸支社へ県知事を筆頭に加盟自治体首長一同で要望を出している。



▲延伸を望むつくばエクスプレス

**Q** 羽鳥駅特急列車の停車・つくばエクスプレス延伸化の、市長の意気込みを聞きたい。

**A** 市長 議会と執行部は、車の両輪に例えられるが、議会と執行部が共通目標に向かって切磋琢磨を続けていけば必ず道は開けるものと信じている。

また、つくばエクスプレスは関係機関、関係自治体との協議・調整を重ね、今後の方向性を見出し、県との強い連携のもとに、国や首都圏新都市鉄道株式会社等へ要望活動を展開していきたい。

“遅々に感じる”美1-8号線整備の進捗は

全線早期完工目指し、鋭意努力する



関口輝門

**Q** 道路体系の充実には良好なネットワークを構築し、安全快適な道路環境の整備を基本方針に据えている。①請願・行政区の要望ある生活道路の整備状況と今後の整備策は？②市道美1-8号線改良工事の整備計画など伺う。

**A** 都市建設部長 ①諸事情により整備伸長が滞っている路線は少なからずある。未実施路線は、関係行政区・地権者の協力のもと緊急性・整備効果等を勘案し、国県補助等を最大限活用し事業化に向けて努力する。②市道美1-8号線は、西郷地の旧国道6号交差点から巴川高砂橋・柴高の県道上吉影岩間線を通り過ぎて市道美1-9号線と市道美1585号線の交差点までの2.5Kmを三工区に分けて整備に当たっている。一工区は一部131mの道路改良を実施、二

工区は流末部分の測量等、道路流末整備を進める。橋梁部分は仮設道路等を考慮すると、非常に大きな工事費が想定されるため財源確保に努め着手したい。

**Q** 下水道事業の整備方策、今後の整備計画の見通しは。

**A** 都市建設部長 公共下水道は、花野井・小曾納地区と栗又四ヶ地区を進めている。今後、もその先地への延伸など住宅密集地を優先して進める。農業集落排水は財政逼迫する中であるが、地域特性や経済性を考え整備手法を再検討し、快適で衛生的な生活環境づくりを目指す。施設の老朽化等維持管理困難な団地にあつては、市の下水道整備計画の進捗状況により取り組む。

**【そのほかの質問】**  
○準用河川の整備状況について

そ・ら・らを地域再生拠点として活性化策を

課題等整理し進める



鈴木俊一

**Q** 茨城空港との相乗効果はどのように図られているのか。

**A** 産業経済部長 茨城空港のイベントとあわせ、「そ・ら・ら」でもイベントを行い、相乗効果は高まっている。今後も県と連携のもと、さらなる相乗効果を高める施策を検討していく。

**Q** 地元市民の生活の質の向上にどのように貢献できているのか。市民の生活を豊かにし、支持される施設と

なっているのか。

**A** 産業経済部長 「そ・ら・ら」直売所に出品する登録農家数は130人。レストランと連携し、地元産の農産物を提供する仕組みを構築したい。直売所で新鮮な野菜を買い求める方やレストランで昼食を楽しむ方が来場している。

**Q** ふるさとの礎材を大切に、「市民がいきいきと暮らし、輝く未来に翔くまち」とい

う将来像のために、空の駅の今後の構想や計画、見直しはあるのか。

**A** 産業経済部長 今後の在り方については、課題等整理しながら、よりよい空のえき「そ・ら・ら」のため検討していく。

**Q** プレミアム商品券の経済効果はどのように検証しているのか。

**A** 産業経済部長 小美玉市元気再生プレミアム商品券は約270店舗で使用でき、市内での消費拡大が生じ、一定の経済効果があったと認識している。

**Q** 新ごみ処理施設では、どのようなゴミの分別になるのか。

**A** 市民生活部長 新聞・雑誌・ダンボール等を除く紙類、布類、プラスチック製容器包装類は各市町が分別収集し、燃えるごみ、燃えないごみ、缶・瓶類、一般処理対象物については、これまでどおり広域処理する分別方針が示された。



## スクールバスの無料化を

### 利用者負担については今年度決定したい

福島ヤヨヒ

**Q** ①スクールバスは県内3/4自治体が無料化なので、小美玉市でも無料化を望むがどう検討されているか。美野里地区の通学バス利用も無料化にしたい。②子どもの居場所づくり対策はできているか。校庭開放はできないか。③就学援助金の前倒し支給はできないか。

**A** 教育部長 ①小中学校規模配置適正化実施計画に基づき保護者アンケートを参考に検討中だが、年度内には決定する。通学バスについても関係所管保護者と協議する。②市内の施設の有効な活用と、地域力を活用し事故防止の万全を図りながら対応していきたい。校庭開放は指導員配置などから予定はない。③近隣市町村の動向を踏まえ検討したい。

**Q** 市内公共施設は分煙対策が行われているか。施設敷地内に喫煙所ができないか。公園等野外の対策はどうなっているか。

**A** 総務部長 条例等で規制はしていないが、建物内は原則禁煙になっている。屋外の分煙対策は行っていないが、運動公園では、喫煙場所を指定している。喫煙所設置は検討をしていきたい。

**Q** 国保制度が県一本化になるが、小美玉市の国保税はどうなるか。市独自の福祉対策はどうなるのか。

**A** 保健衛生部長 新制度になっても最終的には市が決定するので、急激な税負担の増にならないよう対応していきたい。通称マル特も引き続き取り組んでいく。

**Q** 新ごみ処理場のごみ収集に対する取り組みはどうなっているか。白雲荘が解体されたが、これまでの利用者の対策はなされたか。

**A** 市民生活部長 新処理施設では各自自治体でコストバランスを踏まえ分別収集し資源化を図っていく。地域還元施設についてはH34には供用開始の予定です。

**A** 企画財政部長 白雲荘までの巡回バスルートについても公共交通会議の中で検討する。

## 玉里運動公園の指定管理者制度導入について

### 施設の整備充実により、適正な運営・維持管理に努めます

長島幸男



▲玉里運動公園の多目的広場

**Q** 玉里運動公園の指定管理者制度導入について伺う。

**A** 教育部長 今年4月から、特定非営利活動法人小美玉スポーツクラブを指定し、指定期間5年間、指定管理料2600万円、これまでも市が行っていた管理運営と同様の業務範囲の委託をしている。

**Q** 整備事業について

**A** 教育部長 平成25年から27年にかけて、造成工事、公園施設工事、運動施設工事、照明設備施設、屋外トイレ等建築工事、駐車場整備工事などを行い、費用は7億2000万円、国庫補助金、スポーツ振興助成金等を財源として、平成27年10月にリニューアルオープンをしました。

**Q** 整備事業の中で、野球場がまだのようですが、市内の唯一、硬式野球が可能な球場であり、今後整備の検討をお願いしたい。又、多目的広場で高齢者の方々が、グランドゴルフ場として利用していますが、夏場は、日差しが強く、屋根付きの休憩所の要望があります。是非検討をお願いします。

**【そのほかの質問】**

**Q** 本市の基金について

**Q** 所有者不明土地問題について

霞ヶ浦二橋の整備促進を市長は、どう考えているか

総合計画への整備促進を図る



石井 旭

Q 第2次総合計画前期基本計画の骨子(案)が示されたが、市の将来像を踏まえ、今後の策定に向け提案する。

総合計画審議会の開催状況及び、検証結果について、第4回定例会の一般質問において、後期基本計画の3つの重点施策の検証結果を質問した際、市長の答弁は、まだ、第1回審議会が開催されておらず、開催後に説明するとのことでした。改めて開催状況及び、検証結果について伺う。2点目、まちづくりワークショップの活用と今後の進め方について伺う。3点目、重点施策について伺う。

A 企画財政部長 これまでに3回の審議会、2回のワークショップを開催し、後期基本計画の検証を行い、問題点や課題を洗い出した。重点施策の考え方並びに位置づけについては現在検討中。

Q 4点目、個別施策の公共交通の充実について伺う。霞ヶ浦二橋の整備促進について、平成8年に、『霞ヶ浦二橋整備促進期成同盟会』が設立され以来20年間、県においては、国に毎年、知事や県議会議員を初め、精力的に要望活動を行っている。大きな地震などの災害時に、重要な避難ルートになると考える。また、土浦協同病院への緊急ルートとして、小美玉市としても重要なものであり、是非、個別施策に、位置づけすることを提案する。市長の見解を伺う。

A 市長 これまで同様に建設促進期成同盟のなかで関係自治体と歩調を合わせ県へ要望活動を継続していくとともに、総合計画へ整備促進を図るための要望活動を位置づけたい。

食品ロス削減に向けての取り組みについて

「30・10運動」等啓発活動に取り組む



植木 弘子

Q 「食品ロス」として日本では年間632万トンが廃棄されている。本市として啓発活動を積極的に取り組むべきと考えるが。

A 副市長 家庭・市民に対する啓発活動として、チラシの配布を行っている。今後も「広報おみたま」やホームページなどを利用した周知・啓発を図る。事業者に対しては「30・10運動」の推進、いわゆる「宴会での乾杯後30分、終了前の10分は、自席で料理を楽しむ、残さず食べましょう。」というような啓発物を飲食店に掲示協力をお願いするなど、啓発活動に取り組んでいきたい。

Q 市民と事業者と一体となった取り組みが重要と考えるが見解を伺う。

A 副市長 家庭における食品在庫の適切な管理や飲食店における「残さず食べる運動」持

ち帰り運動」など市民が事業者と一体となった食品ロス削減運動が大切であると考えている。

Q 「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」へ参加を。

A 副市長 先進事例の状況を踏まえ検討していく。



▲「30・10運動」(環境省HPより)

【そのほかの質問】

○公衆無線LANの公施設等への整備をどのように進めていくか見解を伺う。



エクスプレス延伸実現で県内南北格差是正を

要望活動を展開できるように務める

木村 喜一

る。平成30年度にはヨールトサミットもあり、専門の担当部署の必要性も感じている。今後、情報収集を図りながら

**Q** ダイヤモンドシティ・プロジェクト  
**統括する専門の部署を設け事業が最大限の効果を発揮するための仕組みづくりを。**  
**A** 企画財政部長 関連事業は多岐にわたり、連携不備、方向性の統一など難しい場面もある。平成30年度にはヨールトサミットもあり、専門の担当部署の必要性も感じている。今後、情報収集を図りながら

**Q** 公共施設等総合管理計画に基づき既存施設の効率的な維持管理、運用は。将来的な費用負担額の周知徹底を。  
**A** 企画財政部長 今後、施設類型ごとの個別計画の策定並びに計画に示されている基本方針の変更が生じる場合などのほか、毎年現況の調査を行い、推進本部において情報共有を図り、議会へも報告していく。

よう努めていく。

**A** 企画財政部長 土地利用、産業振興、観光振興など幅広い分野で著しい発展をもたらす、それに伴う雇用創出や移住・定住促進につながるもので、地方創生の観点からも大きな期待を寄せるものであり、茨城県との強い連携のもとに、国や事業主体である首都圏新都市鉄道株式会社等へ要望活動を展開できるように努めていく。

**Q** つくばエクスプレス延伸構想会議を基地と空港を抱える本市が中心となって直ちに開催すべきと考えるが。  
**A** 企画財政部長 土地利用、産業振興、観光振興など幅広い分野で著しい発展をもたらす、それに伴う雇用創出や移住・定住促進につながるもので、地方創生の観点からも大きな期待を寄せるものであり、茨城県との強い連携のもとに、国や事業主体である首都圏新都市鉄道株式会社等へ要望活動を展開できるように努めていく。



▲TX延伸が望まれる茨城空港

地方創生専門部署の検討を行っていききたい。

今後十年後を目指し政策を計画推進すべきだ

総合的にまちづくりを進めていく

戸田 見成



**A** 福祉部長 地域において安心して子供を産み育てることができ、社会をめぐらし、暮らし

**Q** 子育て行政について  
**今や人口減少は避け難い状況ですが、子育てをされている皆様は安心して子育てができるよう最善を尽くすべきですが如何ですか。**  
**A** 福祉部長 地域において安心して子供を産み育てることができ、社会をめぐらし、暮らし

**Q** ゴミ処理施設事業について  
**住民の声に 応えているかー 危険物が検出され心配されています。焼却場は住民にとって迷惑な施設です。住民の声を十分に反映してください。**  
**A** 市民生活部長 ごみ処理施設広域化事業については、周辺住民の声をしっかりと受けとめ、地元で配慮した事業の進捗が重要であると認識している。危険物の除去を一番最初に

**○** 道の整備について  
**栗又四ヶ線等を含む知事選の結果について**

**【そのほかの質問】**  
**○** そちらの今後の在り方について  
**○** 道の整備について  
**栗又四ヶ線等を含む知事選の結果について**

**Q** 総合計画について  
**今後十年先の小美玉市の指針になるもので。当市は発展すべき多くの要素があります。しっかりと計画を立てるべきです。如何？**  
**A** 企画財政部長 策定にあたっては、第1次総合計画を継承しながらも、総合戦略の内容を反映させ、移住・定住促進、雇用対策、結婚・子育て支援など、人口減少対策に力点を置いている。

## 汚水処理人口普及率の中期目標と整備方針は

### 中期目標 90.4%、汚水処理全般を総合的に捉える



谷 仲 和 雄

**Q 生活排水ベスタップランを踏まえ、汚水処理人口普及率の中期目標と汚水処理施設の整備方針を聞く。**

**A 都市建設部長** 市の汚水処理人口普及率は28年度末で76.9%、ベスタップランでは37年度中期目標で90.4%と設定されている。

引き続き、下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の早期整備と接続促進を図るが、建設工事にかかる国庫補助の削減や起債償還額の増加、又、既存施設の老朽化に伴う維持管理費用の増加に反比例して人口減に伴う使用料等の収入減少が見込まれ、財源確保が困難になると予測されることから整備事業に関して転換期を迎えている。

将来見通しを踏まえ、今後は、下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の汚水処理全般の事業を総合的に勘

案し、既存施設を有効活用しながら統合や編入を検討するなど、それぞれの整備区域を見直したうえで、37年度中期目標の汚水処理人口普及率90.4%を目指していく。

**Q 災害協定の締結状況は。**

**A 危機管理監** 現在、締結する災害時応援協定は、行政、民間、団体等を含め46協定。又、災害時に備え食料品等の備蓄に努めつつ、不足が予想される物資等の供給確保については協定に基づく流通備蓄で対応することとしている。

今後、協定の多様化を図るとともに相互支援協定についても進めていく。

今後、協定の多様化を図るとともに相互支援協定についても進めていく。

今後、協定の多様化を図るとともに相互支援協定についても進めていく。



▲防災倉庫内の災害備蓄品

## 特別支援教育のさらなる充実を！

### 各課横断的に強化に努める



幡 谷 好 文

**Q 現特別支援教育について①石岡八郷校への対応は？②放課後等デイサービスの充実を③ソーシャルワーカーの現状は？**

**A 教育長** ①現在在籍している児童・生徒の新しい特別支援学校への転学については、本人または保護者の同意のもとに決定する。市教育委員会では、特別支援教育にかかわるニーズを的確に把握し、誰もが安心して学べる教育環境を提供できるよう、就学支援や教育活動の充実を努めたい。

**A 福祉部長** ②利用者は県の指定を受けたサービス提供事業所において、授業の終了後または夏休み等の休養日に生活能力の向上のために必要な訓練や、社会との交流その他必要な支援を受けられることから、利用者は年々増加をしている。原則一月当たりの利用日数を超

えて、サービスを利用する場合、状況を勘案して柔軟に対応したい。

**A 教育長** ③昨年度は幼稚園、保育園、認定こども園の260名の保護者から延べ491件の相談があった。多かった相談内容は、子供の発達や行動の心配ごと、小学校への就学相談であった。子ども環境改善支援事業におけるスクールソーシャルワーカーの配置は特別な配慮や支援が必要な園児・児童・生徒、その保護者、また指導に当たる学校の教職員にとっても大変大きな教育効果を上げていく。

また指導に当たる学校の教職員にとっても大変大きな教育効果を上げていく。

また指導に当たる学校の教職員にとっても大変大きな教育効果を上げていく。

また指導に当たる学校の教職員にとっても大変大きな教育効果を上げていく。

また指導に当たる学校の教職員にとっても大変大きな教育効果を上げていく。

また指導に当たる学校の教職員にとっても大変大きな教育効果を上げていく。

また指導に当たる学校の教職員にとっても大変大きな教育効果を上げていく。

また指導に当たる学校の教職員にとっても大変大きな教育効果を上げていく。

また指導に当たる学校の教職員にとっても大変大きな教育効果を上げていく。

また指導に当たる学校の教職員にとっても大変大きな教育効果を上げていく。

また指導に当たる学校の教職員にとっても大変大きな教育効果を上げていく。

また指導に当たる学校の教職員にとっても大変大きな教育効果を上げていく。

また指導に当たる学校の教職員にとっても大変大きな教育効果を上げていく。

また指導に当たる学校の教職員にとっても大変大きな教育効果を上げていく。

また指導に当たる学校の教職員にとっても大変大きな教育効果を上げていく。

また指導に当たる学校の教職員にとっても大変大きな教育効果を上げていく。

また指導に当たる学校の教職員にとっても大変大きな教育効果を上げていく。

また指導に当たる学校の教職員にとっても大変大きな教育効果を上げていく。

また指導に当たる学校の教職員にとっても大変大きな教育効果を上げていく。

また指導に当たる学校の教職員にとっても大変大きな教育効果を上げていく。

また指導に当たる学校の教職員にとっても大変大きな教育効果を上げていく。

また指導に当たる学校の教職員にとっても大変大きな教育効果を上げていく。

また指導に当たる学校の教職員にとっても大変大きな教育効果を上げていく。

また指導に当たる学校の教職員にとっても大変大きな教育効果を上げていく。